

事務事業名	身近なみどり整備事業	事務事業No.	40901000802	所属課	農林課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成20年度から県の森林湖沼環境税を財源に事業が開始され、通学路等の道路沿線・公共施設及び住宅団地等周辺の森林、地域の自然景観を形成する森林、霞ヶ浦等の湖沼の水質浄化に結びつく森林など、県民生活に身近な森林(平地林・里山林)を地域主体で適正に整備・保全し、地域住民にとって快適で豊かな森林環境づくりを推進する。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

住民からの整備要望も多くなっており、今後の期待も大きい。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

森林機能緊急回復整備事業と連携して森林整備を行うことで、更なる成果を見込めることができる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	道路沿いの森林整備や平地林・里山林の整備、有害鳥獣対策としての緩衝帯整備といった森林整備を行うことで、市内の森林環境の改善や向上に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	県民から徴収している森林湖沼環境税の還元のため、市での事業実施は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	住民からの要望を考慮するとともに、計画的に適正な場所を選定し施工していくことで、更なる森林環境の改善や向上が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	森林の公益的機能が発揮できずに、森林の荒廃が進む。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	規模が大きいため、他の事業では対応できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	普段から整備されていない森林が多いため、山林の刈払いや整理伐等の整備費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	森林湖沼環境税の還元のため、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	道路沿いの整備、平地林・里山林の整備、有害鳥獣対策としての緩衝帯整備等、様々な観点から事業が実施できた。今後は、更なる住民からの要望の掘り起こしを行い、効率的な事業の実施をしていきたい。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">コスト</td></tr> <tr><td colspan="2"></td><td>削減</td><td>増加</td></tr> <tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>維持</td><td></td><td>×</td></tr> <tr><td>低下</td><td></td><td>×</td></tr> </table>				コスト				削減	増加	成果	向上	○		維持		×	低下		×
		コスト																			
		削減	増加																		
成果	向上	○																			
	維持		×																		
	低下		×																		
住民にとって快適な森林環境を享受できるように、森林所有者に整備推進を働きかけるとともに、森林湖沼環境税活用事業について広く普及啓発を行う必要がある。また、森林機能緊急回復整備事業と連携して森林整備を行うことで、一体的な整備が進めるようにしていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果																			
		コスト削減優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認